

課題名	びわわい性台木の探索								
成果の要約	マメビワ台、マルメロ台、ややわい性と思われるが、シャリンバイ台は生育が不良である。								
成	1. 茂木台に比較して生育は、オオカナメモチは良好で、マルメロ台はやや劣り、シャリンバイ台、マメビワ台は劣った。 2. 果実の品質は、年次間の差が大きく、台木間の差は明らかでなかった。								
	第1表 台木の種類と樹性								
績	台木名	樹高	樹 巾		幹 周	樹容積	1年生 枝 数	樹容積 当たり 枝 数	樹容積 当たり 果実数
			東西径	南北径					
概		(m)	(m)	(m)	(cm)	(m <sup>3</sup> )	(本)	(本)	(個)
	マルメロ	2.6	2.4	2.3	22.8	7.65	121	16.0	20.2
	シャリンバイ	1.3	1.0	0.9	12.1	0.83	32	79.4	48.4
	オオカナメモチ	3.1	3.3	3.1	31.0	15.60	200	12.9	15.5
	マメビワ	2.1	1.9	1.7	18.9	3.85	82	21.6	35.3
	茂 木	2.9	2.9	2.7	25.0	12.38	149	12.2	16.6
	田 中	2.9	2.8	2.7	24.5	11.91	164	14.1	14.2
要	有意性	**	**	**	**	**	**	**	NS
	Qs $\bar{x}$ 0.05	0.5	0.5	0.4	4.3	3.86	50	26.9	

第3表 台木の種類と果実品質

項目 年	糖 度			酸 含 量		
	57	58	59	57	58	59
台木名					(g/100 ml)	
マルメロ	11.1	—	10.9	0.25	—	0.31
シャリンバイ	12.9	—	14.8	0.23	—	0.19
オオカナメモチ	11.8	—	11.4	0.31	—	0.29
マメビワ	11.3	—	11.9	0.27	—	0.26
茂木	11.9	—	11.9	0.31	—	0.24
田中	12.1	—	11.7	0.25	—	0.23
有意性	NS	—	**	NS	—	*
Q s $\bar{x}$ 0.05			1.2		—	0.05

(昭59長崎果試)

その他 実用性については、今後研究の積重ねが必要であると思われる。